



2025年度 市政懇談会 <忠生地区町内会・自治会連合会>

次 第

[日時] 2025年9月26日(金) 18:30 ~ 20:00

[場所] 忠生市民センター ホール

司会進行：市民部長 横山 法子
忠生地区町内会・自治会連合会 会長 高橋 清人

○ 連合会長の挨拶

忠生地区町内会・自治会連合会 会長 高橋 清人

○ 市長の挨拶

町田市長 石阪 丈一

○ 職員の紹介

○ 市政懇談会について

第1部 地域の議題に関する意見交換

1 道路整備のお願い

【道路部】

2 小田急多摩線延伸早期実現

【都市づくり部】

3 忠生スポーツ公園池の辺地区に簡易屋外ステージ設置

【都市づくり部】

4 小山田子どもクラブ「ゆめいく」に駐車場を

【子ども生活部】

5 町内会・自治会活動に関する各種手続きをメールで完結できるサービスを

【都市づくり部、市民部】

第2部 市政全般に関する意見交換

市長からの市政報告

○ 閉会の挨拶

閉会挨拶 忠生地区町内会・自治会連合会 副会長 川畑 一隆

2025年度 忠生地区町内会・自治会連合会 市政懇談会 議事録

[日 時] 2025年9月26日（金）18：30～20：00

[場 所] 忠生市民センター ホール

[出席者] 町田市長 石阪 丈一

道路部長 深澤 香織

都市づくり部長 原田 功一

都市づくり部都市整備担当部長 新 聰

子ども生活部長 鈴木 亘

市民部長 横山 法子

忠生地区町内会・自治会連合会長 ほか17名

事務局 市民部市民協働推進課 6名

忠生市民センター長

司会進行：市民部長

忠生地区町内会・自治会連合会長

○連合会長の挨拶

○市長の挨拶

○職員の紹介

○市政懇談会について

第1部 地域の議題に関する意見交換

1 (1) 都市計画道路3・4・40号線小山田地区の整備

この道路は町田中心部と日野・八王子方面をつなぐ重要な幹線道路で小山田地区の部分が未着工或いは未整備の部分があります。昨年7月東京都の都市整備局長へ、住民代表として次期（2026年～2031年）と同計画に計上して早期整備を図るようにとの要望書を提出し、町田市からも都に要望するようお願い致しましたが、その後、進展はどうなっていますか？

（2）市道忠生859号線と市道忠生1200号線の接続道路の早期整備

本来清住平地区とはなみずきの丘地区を結ぶ幹線道路として建設された道

路でありながら、接続していない。早急に整備していただきたい。

（3）都道155号線の拡幅

小山田小学校前～山の端の区間は道幅が狭く路線バスとのすれ違いにも危険で、大型車両同士のすれ違いが出来ない等、交通に支障がでています。町田市が主導して整備を推進し、同時に都に改善をせまるように強く働きかけをお願いします。

（4）市道441号線（農免道路）全線の歩道整備

市道441号線は小山田小や小山田南小の児童が通学路として利用する道路ですが、多くの区間で安全な歩道が無く、通学する子供達にとって危険な道路です。安全な歩道整備を進めるため、具体的に全線をどういう線形にしていくのか早期に検討し、地元に示していただきたい。

（5）市道579号線の早期全線開通

現在第1工区の測量が進行中ですが、第2工区を含めた全線開通の早期完成をお願いします。

（6）下小山田大龍地区に東谷戸道路を新設を

大龍地区は東西を連絡する道路が無く、バス便も少なく、日常生活が非常に不便な地区です。本来モノレール延伸に期待していましたが、別ルートが決定し、かなり見通しが困難となりました。この地区は町田市と小田急が所有する土地が多く、道路が安価に新設できるはずです。是非多摩市へのアクセスを改善し、生活が便利になり、多摩丘陵病院の利便性改善のため、東谷戸道路の新設を計画していただきたい。

【回答】

道路部長

議題1（1）の「都市計画道路3・4・40号線小山田地区の整備」についてお答えします。

2024年7月に提出された都知事及び町田市長宛ての要望書につきましては、東京都とも情報共有しております。

【資料1】町田都市計画道路3・4・40号【本町田小山田線】の進捗状況につきましては、桜台通りの交差点から下小山田苗圃までの延長約700mの①区間は、「図師Ⅲ期その1」と「その2」の2つの区間に分けて、東京都が事業を進めております。

その1区間の用地取得率は66%、その2区間の用地取得率は6%と伺っております、引き続き、東京都に対して早期完了を働きかけてまいります。

下小山田苗圃から多摩市との行政境界までの延長約1, 280mの②区間については、未着手となっております。

②区間につきましては、現在、検討を進めている「東京における都市計画道路の整備方針（仮称）」において、都施行の優先整備路線として位置づけるよう、東京都に働きかけてまいります。

議題1（2）の「市道忠生859号線と市道忠生1200号線の接続道路の早期整備」についてお答えします。

【資料2】市道忠生859号線と市道忠生1200号線を接続する道路につきましては、「東京における都市計画道路の整備方針（第四次事業化計画）」において、「新たな都市計画道路の検討」路線に位置付けております。第四次事業化計画の「優先整備路線」に位置付けた道路の事業進捗を考慮した上で、当該路線の検討に着手してまいります。

また現在、検討を進めている「東京における都市計画道路の整備方針（仮称）」において、当該路線の位置付けを、東京都と調整してまいります。

議題1（3）の「都道155号線の拡幅」についてお答えします。

【資料1】都道155号線につきましては、東京都が道路管理者です。

市では、上小山田町内会及び下小山田町内会と共に、危険箇所等の現地立会などを行なながら安全対策方法の検討をいたしました。

それを基に、2025年3月に、両町内会連名で、安全対策の実施を東京都に要望されたと認識しております。

それを受け、2025年5月に市長、副市長から直接、南多摩東部建設事務所長に対し、安全対策の実施を働きかけております。

今後も、引き続き、地元の意見を都に申し伝えながら、安全対策の実施を働きかけてまいります。

議題1（4）の「市道441号線（農免道路）全線の歩道整備」についてお答えします。

【資料3】忠生441号線は、町田街道の常盤交差点付近から小山田バス停付近までを結ぶ延長約1, 600m、幅員7. 5mから10. 6mの道路です。

歩道の安全対策といたしましては、過年度に地元町内会からの要望を受け、平と池谷戸の2か所のバス停について、2019年度、2020年度に滞留空間の整備を行いました。また、種入バス停付近の交差点につきましては、2024年度に、安全にバスの乗降ができるよう、歩道のある位置にバス停を移設するとともに、交差点部に歩道を設置し、歩行者の安全性向上を図つてまいりました。

忠生441号線の線形につきましては、先行して整備する忠生579号線との交差点部において今年度から線形を決めるための設計を進め、交差点付近の歩道整備について検討してまいります。

今後も忠生579号線の進捗状況を勘案しながら進めていく予定としており、当面は、できるところから安全対策を講じてまいります。

議題1(5)の「市道579号線の早期全線開通」についてお答えします。

【資料2】忠生579号線は、小山田バス停付近から南多摩尾根幹線道路の南多摩斎場入口交差点付近に向かう現道幅員約5mの道路でございます。

小山田バス停付近を起点に鶴見川源流の泉付近までを第1工区、そこから南多摩尾根幹線道路までを第2工区と工区を分け、主に現道を活用し12mに拡幅整備する方針でございます。

まずは、第1工区から先行して事業を進めていく計画で、2024年度は道路線形の検討を進め、2025年3月には地元及び沿道地権者を対象とした道路線形説明会を開催し、概ね了解をいただきました。

2025年度は、第1工区及び第2工区の全線について警視庁と道路線形協議を実施するとともに、第1工区の用地測量を進めてまいります。

第2工区の整備につきましては、第1工区の整備を先行して進め、第2工区についても切れ間なく整備できるよう進めていく予定です。

議題1(6)の「下小山田大龍地区に東谷戸道路を新設を」についてお答えします。

【資料4】ご要望いただきました道路は、下小山田地区の東西を結ぶルートであり、多摩丘陵病院や多摩市方面へのアクセス性の向上や交通安全性の確保など、地域の活性化につながる道路として、「町田市都市づくりのマスタープラン」において、新規都市計画道路の検討路線に位置づけております。

今後、接続先となる多摩都市モノレール導入路線の動向や、地域の方々が進める地区のまちづくりの進捗に合わせて、適切な時期に事業化を判断してまいります。

《質疑》

上小山田町内会

今回、小山田地区の道路整備ということで、路線名をたくさん出させていただきました。少しづつ、地元として補足をさせていただきたいと思います。

(1)から(5)まで続けてお話しさせていただいてよろしいでしょうか。

まず、(1)の都市計画道路3・4・40号線ですが、今年の7月に東京都のホームページで「都市計画道路の整備方針中間のまとめ」というものが公表されましたよね。これを見てみると、東京都はこれまで10年ごとに新

たな都市計画道路、優先整備路線を選定してきたわけですが、大分整備全体が遅れているということだと思うのですが、今年度に決定される第五次の優先整備路線が、計画期間が10年ではなくて15年ということで延びているようです。ということで、今回、この未着手区間が優先整備路線に選定されないと、次の整備の着手まで15年以上先になってしまふのではないかと、非常に危惧しております。そうならないように、今回の優先整備路線にぜひ選定いただけるように、町田市としてこれまで以上に積極的に働きかけをお願いしたいということをさせていただきます。

続きまして、(2)の忠生859号線と忠生1200号線の接続道路ということで、その図面を見ますと、大分西側にも延ばしてあるような印象で見えるのですが、恐らくそれは構想としてそうなっていると思うのですが、この道路を西側に延伸していくと、小山町の馬場地区から多摩境駅前を通る市道堺2000号線、多摩境通りとつながるような将来的な構想を市のほうでもお持ちだと思うのです。これがもし完成した場合には、忠生地区から堺地区をずっと通っていって、国道16号まで抜けられるということで、町田街道のバイパス道路としても機能してくるのだと思うのです。ということで、それはずっと先の話なのですが、まず、今回お願いしている859と1200の間の接続道路、地形的に谷になっているのできついとは思うのですが、これを何とか接続していただくと、第1段階として、非常に地元としては助かるなと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

続きまして、(3)の都道155号線の小山田小学校前の拡幅の件なのですが、先ほど部長からもお話しidadきましたけれども、今年3月に市の道路政策課さんの協力をいただきまして、具体的な対策をどうしたらいいかということを図面に落とし込んで、両町内会で南多摩東部建設事務所に要望書として提出をいたしました。それで、提出しただけだとどうなっていくか分からぬので我々も心配ですので、今月11日に両町内会で南多摩東部建設事務所に行ってきました、どうなっているかと進捗状況を聞いてまいりました。聞いたところ、要望の提案に沿って一部の測量と工事設計を進めていただいていたという回答をいただいて、その点はよかったです、ただ、具体的な工事になると予算の関係でいつになるか分からないという、ちょっと冷たいことだったのです。それでは困るので、現実に工事が始まらなければ意味がありませんので、我々としてもこれからも折を見て、またお願いには行くつもりでいるのですが、市からも東京都に強く働きかけを引き続きお願いしたいと思いますので、よろしくお願いします。

続きまして、(4)の市道441号線の歩道整備の関係ですが、これは昨年もお話しさせていただいたのですが、理想としては、町田市の準幹線道路の規格で整備していただきたいと思っているのです。これは車道幅員が7mで、両側の歩道が2.5mずつという整備なのですが、現在、家が建ってし

まっているところがかなりありますので、そこは両側の歩道は難しいと思いますので片側だけでも、現状、歩道らしきものはありませんので、片側だけでも歩道ができれば安全が確保できるのかなと思っております。

いずれにしましても、安全な歩道整備を進めるために、全線をどういう線形にしていくのかということを早期に市としても検討していただきたい、地元に示していただきたいと思っています。今年度、579号線と交差する部分については測量していただいているということで承知していますが、そこだけではなくて、やはり基本的には全線がどうなるかが心配ですので、よろしくお願ひしたいと思います。

続きまして、（5）忠生579号線の早期全線の開通ということですが、先ほどお話がありましたように、町田市が2037年度の稼働を計画しています資源ごみ処理施設への搬入道路としても使われるという道路ですので、ごみ処理施設を稼働させる前に、とにかく全線の早期完成ということをお願いしたいと思っておりますので、そのところはきちんとお願ひしたいと思います。

道路部長

ありがとうございました。順番にお答えします。

まず、1つ目の3・4・40号線を優先整備路線に、についてですが、今、会長がおっしゃっていただいた整備方針の中間まとめとして、考え方を示したものが7月末に公表され、それに対して皆様から意見をいただきて、それがちょうど取りまとめの最中、これから個別路線については各市町村と東京都で調整するという段階になっておりますので、その中で町田市としましても3・4・40号線については都施行の路線としてお願いしたいということを言っていくつもりではおります。

続きまして、2つ目、はなみずきの丘と清住平のところにつきましては、おっしゃるとおり、西側の多摩境のほうに向かうアクセスとしては大変重要な道路だと考えております。1999年の段階で、それぞれの区画整理の計画でこの18mの線形を引いており、大分時間も経っているのですが、周辺の動向と併せて検討を進めていきたいと考えています。地形的に難しいところということをおっしゃっていただいたのでお話しさせていただきますと、本当にすごい谷を結ぶ路線で、どのような構造にするかも含めて検討が必要になります。引き続き、今度の事業化計画の中に位置づけ、検討していきたいと考えております。

3つ目、都道155号線、これは本当に毎年ご意見をいただきており、安全性の確保に向けて市ができることは「東京都に対して一緒に寄り添っていくこと」として、町内会の方々にも現地に立ち会っていただきながら一緒に案を捻出して都にお願いしていただいております。今回の市政懇談会前にも

市から東京都にお話をさせていただいているが、先ほど会長がおっしゃったように、設計とか測量という段階で、具体的な工事の時期については明言は得られませんでした。今後も引き続き、市からも都に対して声かけをしていきたいと考えています。

続きまして、4つ目、農免道路の全線計画についてですが、皆様の安全性への強い願いは以前からいただいており認識しております。しかし、沿線に住宅が立ち並び高低差等の理由で、線形検討はなかなか難しい所です。まずは579号線との接点、あとは会長からもご提案いただいている沿道でできることはないかを調整してまいります。一度に全線を進めるのは時間もかかり、難しいため、ご相談させていただきながら取り組んでいければと思っています。

最後、資源ごみ処理施設の搬入路となる579号線については、先ほどの回答と一緒にになりますが、まずは第1工区を優先させていただいて、切れ間なく引き続き整備を進めていければと思っています。第1工区は地権者様のご理解をいただけて線形も見えてきていますので、工事の進捗に合わせて進めていければなというところです。

小山田中部街づくり協議会

いつもお手数ですが、今日は最後のお願いということにしたいと思うのですが、まずは第1点の3・4・40号線は私が担当しているところの小山田中部街づくり協議会の一番ど真ん中を通す道路でして、非常にこれについては期待しているところです。先ほど上小山田町内会長からの話の中で、私は初めて聞いたのですが、次の第五次は10年が15年の延長になると。となると、今回を逃すと大分先になってしまいますので、これはぜひとも今回お願いしなくてはいけないと。先日、上小山田、下小山田町内会と中部街づくり協議会で東京都へ都議会議員と一緒にお願いに行つたのですが、そのときについては、ある意味、当然、町田市からも受けていますので、計画を実現するように努力したいという話で別れてきましたが、実は2日前に都議会議員から、実は地方整備局から、第五次計画をつくるに当たって、今のところ非常に難しいと。これからいろいろな会議にかけてということだったのですが、事務局の担当課長から議員に電話があって、今年の分については難しいので、地元が相当動いていただかないと第五次の計画に入らないよということがありました。私もその旨、道路部にお願いをして、積極的に東京都へのお願いをスタートしていただきたいということにしたのですが、できれば市長自ら何かの機会に、この路線を整備することを直接お願いしていただきたいなど。

これは本当に町田市、特に忠生地区にとっては非常に大事な路線で、通過道路としても大いにあるのですが、北部丘陵の町の中の延伸道路は全部調整

区域なのです。そうすると、去年、ロサンゼルスの大谷選手の本拠地で山火事が起きて、球場は助かったのですが、日本においても1月から3月で3か所で約4000haの山が燃えて、それに密着している住宅も結構焼却してしまったということがありました。まさに、昔はきれいな山だったのですが、今や既に荒れ果てて、外から見るときれいですけれども、中に入ると1年分の出た木や葉っぱが全部下に落ちて、それをそのまで、次の年にまた新しい木、新しい葉っぱが落ちて、燃えれば本当に大変な火事になるのが、今、多摩丘陵の、外から見るときれいな山が本当にどんなことになるか。燃えてしまうと二酸化炭素が増えて、非常に地球環境も汚しますし、それよりも、住宅もどんな延焼が起きるか分からぬような状態で、この道を造ることによって、その周辺の山をきれいにするには、まず車が入らないといけないので、道路の通行だけではなくて北部丘陵の山林を蘇らせるためには、ぜひこれは必要だということで、3・4・40号線については、特に次の第五次の中には絶対に入るように、よろしくお願ひいたします。

それと、次の155号線と579号線ですが、これらは資源化施設の整備に当たって、地域を整備していただくことの中の579号線、先ほどの中では一番西側から、今、小山田のバス停の終点までですが、本来、それは3・4・40号線まで続いた路線として、やると回答されているところで、ここにそれが入っていないのは非常に残念です。

小山田のバス停から3・4・40号線のところは都道155号線ということで都道なのですが、これについては、東京都は3・4・40号線が155号線のバイパスですから、それをやるので、155号線は幾ら東京都にお願いしても、基本的にはなかなかやってくれないと思います。そのためには、市長自ら地元へお約束いただいた579号線のところは、あそこから3・4・40号線まで続いたところまでということなので、ぜひよろしくお願ひいたします。

次の441号線も、やはり資源化施設の整備に伴ってお約束をいただいているところで、これはそれだけではなくて、小田急多摩線の予定されている小山田新駅のお客さんを増やすには、まずこの2本の道路をやれば、バスが十分にすれ違っていけば多くの、地元のあの中へ住宅地をいっぱい造ることは、なかなか現実にはできないことだと思いますので、バスに乗ったお客様が小山田の駅を利用して、新宿方面でも、どんどん早く行けますから、これについては、当初のお約束の清掃工場は立派にできて稼動しているわけですから、本来はその前にこの両路線ともやっていただくということが目標だったのです。

それから、ここには載っていないのですが、大久保台の狭隘道路の整備も、そのときに約束されているところが、いまだかつて測量が僅かにできただけです。いい答えをいただいているのですが、全く進んでいない。このプラン

に載っていないないです。

そういうことで、やっぱり約束したことは実行していただきたいと、本当につくづく思っているところです。いつも非常に言葉も悪くて、言い方も悪くてご不快でしようけれども、本当にこれについては、地元としては切羽詰まった問題で、やはりこれを整備することによって北部丘陵の自然が、住宅にしろと言っているのではないです。みんなが使えるようなきれいな丘陵地帯で、大きく言えば、もう市民、都民だけではなくて国民まで長く楽しんでいただき場所にするためには、まずその道路整備をして一歩を進めれば、住みいい町が、小山田ができると思いますので、ぜひよろしくお願ひいたします。

道路部長

ありがとうございます。順番に1答ずついかせていただきます。

まず、3・4・40号線については上小山田町内会長にお答えした内容のとおり、個別路線の選定の中で都施行路線としてエントリーしていきたいと考えております。選定につきましては、検討会で進めていきますので、情報が入り次第、皆様にもお伝えしていきたいと思います。

続きまして、155号線についてです。代表がおっしゃった区間は、資源ごみ処理施設の検討の段階で、今のⅠ期から先の3・4・40号線までの間で、579号線のⅡ期と示していた区間ですが、こちらについては資源ごみのスケジュールも大分ずれてきておりますのと、第Ⅰ期の事業が進んでいため、順次の検討になるかと思います。

小山田中部街づくり協議会

Ⅰ期2キロというのは、小山田バス停から西側だけでしょう。

道路部長

Ⅰ期というのは、資源ごみ処理施設方面の小山田バス停からで、さらにⅠ期を1工区、2工区に分けています。Ⅱ期というのが代表がおっしゃっている学校の前のところです。その区間を先に進めてほしいというご要望は理解しておりますが、まずⅠ期を先行して進めさせてください。

小山田中部街づくり協議会

最後のⅡ期のところ、3・4・40まで、絵としてはつなげてもらわないと意味がないのです。

道路部長

それはかねがね伺っているお話ですけれども、順番にやらせていただいた

いと思います。また、小田多摩の延伸の状況も併せて検討していく路線なので、いろいろな動向を注視しながら進めていければと思います。

続きまして、大久保台の狭隘道路になります。市としてもできる範囲で順番にやっていきます。大久保台については測量の速度が遅いということで、かなりお声はいただいているのですが、頑張っておりますので、よろしくお願ひいたします。

下小山田町内会

6番目の下小山田大龍地区はモノレール路線が、最初、あちらのほうを通りということで期待をしていたのですが、どんどんそれが駄目になってしまったと。それで、かなり去年も買物難民というお話ををして、今、ダイエーさんと市で協力いただいて、高齢者支援センターとダイエーさんで週に1回、移動販売をやっていただいている。それでかなりの数の方が来ているのですが、周囲も新しい家がどんどん増えているのです。なおかつ、道路整備もそうですけれども、これがつながれば今の生活そのものが便利になると思いますので、計画ということではなくてどんどん進めていただきたいと思いますので、よろしくお願ひいたします。

道路部長

ありがとうございます。こちらにつきましては、先ほどと同じお答えになってしまいますが、地域の方々が進めていらっしゃるまちづくりやモノレールの動向も見ながら、都市計画決定等に向けて調整を進めさせていただきたいと思いますので、よろしくお願ひいたします。

小山田中部街づくり協議会

すみません、しつこくて。先ほどの件と、あと1つあるのですが、まず579号線、Ⅰ期、Ⅱ期について。Ⅱ期の第1工区、第2工区を先に工事をすることについては、施設もありますので、ぜひ早くお願ひしたいと思います。ただ、Ⅱ期のほう、あそこから3・4・40号線に行くところについては、非常に路線が、今の155と重複しない、結構南側というか、東側の下を通りますので、工事は後でいいです。計画路線をどこに引くか、それによって、今、小山田も住宅がどんどん増えてきました。計画の路線が決まれば、その路線のところについては、住宅ができてしまうと、それこそ完成しなくなりますので、少なくともその線形だけをまずやっていただき、工事はずっと後でいいです。あまり全部をやってくれ、やってくれと言っても難しいことですから、計画のどこに線を引くかということは、ここは非常に難しい路線です。かといって、十分できる余裕はあります。その辺は、道路部に一生懸命線形を考えていただき、工事は後でいいです。ぜひ線形をよろしくお願

いしたいと思います。

あと1つ、大変申し訳ない、同じ線形なのですが、深澤部長もモノレール担当をやったことがあると思うのですが、小山田の155号線のところから桜美林のところに行く道路、モノレール路線で町田の都市計画道路はあそこだけだと思います。あそこについて、今の道路を、都市計画道路ができたところを広げるわけですから、これは大変なことだと思います。やはりその線形をはっきり出さないと、モノレール路線は、市長は、町田まで通すのは、すごく早くに考えておられると思いますけれども、都市計画道路が全部、東京都がやるのが終わるのは大変なことです。大分、都市計画道路の計画変更もしなくてはいけない、計画変更の話はあまり聞いたことがないので、特に町田は一番モノレールを推進する地元の市としては、あそこの道路、3・4・20かな、オオタニテントのところから桜美林のところに行く尾根緑道のトンネルを通っていく道、あれだけは町田市のやる区間ですから、あそこを広げる都市計画工事は先だと思います。でも、先ほどの579号線の延長の計画と、その都市計画道路の計画は早くやっていただきたいということを重ねてお願いして、以上になります。どうもありがとうございました。

2 小田急多摩線延伸早期実現

小田急多摩線延伸の早期実現については、昨年5月に小倉衆議院議員と共に、国土交通省尾崎政務官と村田鉄道局長に地元としてお願いしてまいりました。町田市や相模原市は2027年度末までに収支採算性向上にむけてとりまとめを行う予定で検討を行っているとのことです。現状の進捗状況はどうなっていますか？町田市は2016年3月に新駅を中心とした『小山田周辺まちづくり構想』を策定しただけで、構想の段階を抜け出ていません。次の段階である新駅周辺まちづくりの整備方針や具体的な計画策定にむけて、周辺の町内会や地元まちづくり団体等が参加する協議の場を早急に設定していただきたい。

【回答】

都市づくり部長

小田急多摩線延伸につきましては、2016年の国の交通政策審議会答申で示されました、収支採算性の課題解決と関係者の合意形成について、相模原市と共に調査検討を進めています。2025年度の取組としましては、今年の8月に相模原市が策定した相模総合補給廠一部返還地のまちづくりに関する土地利用計画を反映した需要予測の試算等に必要な調査検討を実施しております。

あわせて、相模原市においては、相模総合補給廠跡地のまちづくりの検討を進め、乗降客の増加にも寄与するよう努めています。

これらの検討によって、2027年度末までに収支採算性の改善策の取りまとめと、関係者の合意形成を図る予定です。

その後、国の次期交通政策審議会に諮り、2031年頃に想定している答申を得た上で、関係者と事業着手時期の判断をしてまいりたいと考えております。

町田市内の新駅周辺まちづくりにつきましては、2016年3月に、新駅を中心とした小山田周辺の目指すべき将来の姿を示した、『小山田周辺まちづくり構想』を策定しております。この構想の中で、まちづくりにつきましては、鉄道延伸の取組と連動して進めていくこととしております。

まちづくりの具体的な計画策定に着手する際には、町内会・自治会や地元まちづくり団体及び地権者の方々と調整させていただき、進めてまいります。

《質疑》

上小山田町内会

小田急多摩線の延伸の関係ですが、今お話をありましたように、相模原と町田が事業採算性の改善策に取り組んでいるということで理解をしておりますけれども、その中で、相模原市は、先ほどお話をありましたように、北口の土地利用計画というのを8月にホームページでも公表されたかと思います。そういったことで、中間駅である小山田の新駅の周辺につきましては、まだ示されているものが構想段階でしかないですよね。やはり相模原がそこまでやっているのであれば、中間駅の小山田の周辺についても整備方針だとか計画にそろそろ着手していただけないかなと、正直思っているところなのです。

昨年も同じようなお話をさせていただいて、昨年も同じような回答だったのですが、やはり地元の周辺を含んだ町内会とか、まちづくり団体が幾つもありますので、こういったものを取り込んでいただいて早く協議の場をつくっていただけないかと思っておりますので、よろしくお願ひしたいと思います。

それと、関連した課題を申し上げますけれども、教育委員会が進めております小山田小学校の開校の問題がありますよね。小山田小学校は新駅の想定位置から大体400mぐらいの位置にあるのです。今後の新駅周辺のまちづくり計画の中で、存続を含めて、やはり学校の問題についても地元と議論をしていくべきものではないかなと考えております。ということで、どちらにしても早めにそういった機会を持っていただきたいと思っていますので、どうぞよろしくお願ひいたします。

都市づくり部長

ご質問をありがとうございます。おっしゃるように、相模原市の北口のほ

うがそういう計画ができている中で、町田市の中間の場所にある小山田の新駅周辺についても整備方針を考えていかなければいけないという、そのご意見は非常に分かります。ただ、今は鉄道本体の計画段階でありまして、先ほど申し上げたように、国が示す課題、収支採算性を最優先にして我々は取り組んでいます。それについては、今年度、委託で、収支採算性がどのように取れるか、あと来年度も含めてやっていこうと思っておりますので、まずはそれを、最優先させていただいて、その結果を見て、そういう取組をしていきたいと考えております。

(司会) 地区連合会長

全体の進捗を見ながらということもあるのでしょうかけれども、地元は地元でのまちづくりということがありますので、できるだけ前倒しで意見交換の場を設けていただきたいと思います。そうしませんと、唐木田駅の二の舞になって、駅はあるのだけれども、周りは何にもないというか、バスも止まらないということで、非常に周辺に与える影響が大きいのですね。そういう意味からも、やはり前倒しで、ある程度の青写真を地元と協議しながらやっていただきたいと思います。よろしくお願いします。

3 忠生スポーツ公園池の辺地区に簡易屋外ステージ設置

忠生スポーツ公園は、自由に利用できる芝生広場として連日多くの市民に利用されています。ジョギング、グランドゴルフ、凧あげ、家族連れでのピクニック等々色々な楽しみ方で利用されています。また星空映画会ができないか、とも検討されています。さらに、今ここで音楽イベントが開催できれば、このスポーツ公園の利用がさらに広がります。また色々なイベントを開催するうえでも音響つきのステージがあれば、公園の利用価値がいっきにあがります。つきましては、公園のトイレわきの窪地にコンクリート製の簡易な野外ステージを設置していただきたい。昨年も同様の要望を提出し、検討いただいていると思いますが、その後の進捗状況はいかがでしょうか？

【回答】

都市づくり部都市整備担当部長

簡易野外ステージの設置につきましては、2025年3月26日に開催した忠生スポーツ公園地域コミュニティ連絡会において意見交換をさせていただき、演奏用だけでなく、地域のスポーツイベントの開会式にも使えるというご提案や、規模についてのご意見をいただきました。

現在は、どのような構造のステージが設置できるか、例えばコンクリート製なのか、鉄骨なのか、といった候補が考えられますが、検討しております。

イベントのときに必要となる、例えば電源設備などについては、2026年度に検討してまいります。

《質疑》

桜美林台自治会

ありがとうございます。

このスポーツ公園も本当にすばらしい公園ができたなと思っておりまして、出来上がった後にいろいろなことに気がつくのですね。それこそ野外ステージがあればもっと利用度が広がるのではないかと思っていまして、去年の市政懇談会でも、このお話で要望は出させていただきました。町田市に「文化芸術に親しめる環境・機会を充実させる」という基本構想がありますよね。

「いつでも、どこでも、だれでも、あらゆる文化芸術を楽しむまち」にしたいという、この町田市の基本構想に沿ってみると、やはり野外ステージはあったほうがいいのではないかと思っておりますので、ぜひよろしくお願ひいたします。1年間、いろいろと進捗があったのかなと思って気にはなっていましたけれども、今のお答えをいただいて、ぜひ進めてくださればと思っております。よろしくお願ひいたします。

【回答】

都市づくり部都市整備担当部長

スケジュールとしてはそのように考えておりまして、これから予算の確保に向けて努力したいと思っております。

4 小山田子どもクラブ「ゆめいく」に駐車場を

小山田子どもクラブ、ゆめいくを設置していただき有難うございます。現在多くの子供達に利用されています。ただ、小山田地区は広大であり、遠くの児童が利用する際に親の送り迎えが必要な地区もあります。とくに秋から冬の日没が早い季節はなおさらです。現在使用していない隣接の汚水処理場跡地でも利用して、駐車場を整備していただけるようお願いいたします。

【回答】

子ども生活部長

子どもクラブにつきましては、2020年3月に策定した「子どもクラブ整備方針」において、小学生が徒歩または自転車で移動できる距離として、半径1.5kmを利用エリアと想定して整備しております。そのため、原則駐車スペースは、障がい者用駐車区画としての1台分のみを設置しております。

ご要望いただいた、小山田子どもクラブゆめいくでは、小山田地区の地域性を鑑み、障がい者用駐車区画以外に、多子世帯の保護者などの車でしか来館できない方がいることを考慮し、2台分の駐車スペースをご用意しております。

ます。また、施設内の敷地に限りがありますので、現状において、駐車スペースの拡張は考えておりません。

また、隣接地の小山田桜台汚水処理場跡地につきましては、町田消防署忠生出張所の建替えに伴う仮庁舎としての使用を予定しております。

現在は、事前調査として既にボーリング調査を行うとともに、並行して設計を行っており、2027年度から仮庁舎の建設に入る予定です。なお、約3年間の使用後、仮庁舎は2031年度に解体予定です。その後の土地利用については、仮庁舎としての利用が終了するまでに改めて検討していく予定です。

車での来館を希望される場合は、駐車場を設置している「子どもセンター ただON」のご利用も併せて検討いただければ幸いです。

《質疑》

上小山田町内会

ただいまのお話で、方針として駐車場はあまり設置しないということで理解はしたのですが、そうは言っても、小山田地区というのは結構広いのです。ゆめいくが小山田桜台の団地の近くにありますので、小山田地区の中では非常に南に偏っているということになります。そこに来るまで直接使えるような路線バスはありませんし、ちょっと遠くから歩いてくると、1.5kmとか、そういう距離ではないのです。これから秋から冬にかけて大分早めに暗くなりますので、子どもが帰りに歩いていくというのはちょっと危険かなというのもありますし、やはり送迎をしたいという保護者の方が大分多いのです。それで、単純に話としては、駐車場がないと、前で降ろしたり乗せたりとかも危ないし、ちゃんとした駐車場があれば一緒に施設の中に行くこと也可以という、いろいろなことを聞いているのです。ですから、要望としてはかなりお話がありますので、要望としては高い。地域的なものかもしれませんけれども、そういう状況があります。

ということで、できれば汚水処理場の跡地利用、解体後に検討というお話もありましたが、それまではなかなか難しいのかもしれませんけれども、解体の後にぜひ前向きに検討していただければと思います。

それと、現在、障がい者用の駐車場があり、そういうところがちょっと使えるということもあまり知らない人もいるのですよね。ですから、もうちょっとPRしていただければいいかなと思いますので、よろしくお願ひします。

子ども生活部長

駐車場のPRにつきましては、障がい者用プラス2台分ありますので、そちらのPRはきちんとしていきたいと思います。駐車場の2台分については、

特定の人がいつも止めてしまっているという話もありますので、駐車場の使い方のルールも指定管理者と相談しながらやっていきたいと思います。

あと、汚水処理場の跡地に関しましては、これから検討するところではあります、地域の方々のご要望、こういった声をなるべく拾えるようにして検討していきたいと思います。

(司会) 地区連合会長

確かに子どもが主体の設備ですが、内容によっては、やはり親子連れの、特に子育て世代のお母さんを対象にした企画というのは、例えば、ただONなどで結構やっていますので、そういう意味から言うと、駐車場が多少あれば、かなり参加人数も違うと思いますので、そこら辺は、ある程度、地域によって弾力的に考えていただきたいと思います。

小山田中部街づくり協議会

今あえて発言は、ここに下小山田町内会長がいるのですが、2代前の会長をやっていたのです。そのときに、清掃工場を建て替えることを小山田地域は賛成したので、なるべく早い時期に小山田に子どもクラブを造っていただけます。それについては、場所をどこかいいところを紹介してほしいと言われて、やはり小山田小学校、小山田南小学校全体の中の中心でいくと、ずっともと下のほうに入るの、私は、そこを、嫌だ、嫌だという土地を持っている人の了解をやつといただいて、ここについてぜひやってほしいということでお願いしたのだけれども、強引に今のところに決められてしまったという経過があるのです。本当にあのときは、正直言って、私は心外でした。こちらに探してほしいと言われて探したら、そこに決まらなかったのです。

それは置いておいて、今のところについてやったときに、たまたまあそこを買ったのも、中には、本当は汚水処理場の廃材がいっぱいあるところを、あまり値段を安くしないで買ってしまったのは、正直言って何だと思いました。だけれども、その脇の空いているところについては、無償で町田市がURから頂いて、そこに自然のあふれる広場を造るならば、そこには当然、駐車場が必要だった。だから、子どもクラブとして駐車場を造ることは今まで造ったところ、これから造るところに駐車場を造ることはなかなか難しいことなので、せっかく隣にそういう場所で市民が使えるような広場なりを造ると思いますので、そこに駐車場を造ったところを、子どもクラブの人も空いているときは使わせてもらえるというような格好で、あくまで子どもクラブの駐車場ではないほかの施設の駐車場を仮に利用するという方法を考えないと、あまりそこに専用ではできないと思いますので、ぜひ検討をよろしくお願ひしたいと思います。

子ども生活部長

ありがとうございます。いろいろアイデアをいただきましたので、そういったものも参考に進めていきたいと思っています。

5 町内会・自治会活動に関する各種手続きをメールで完結できるサービスを
個々の町内会自治会やその連合会も役員の負担軽減や若い人の参加を募る
ため、デジタル化に取り組んでいます。また町田市も全市的なデジタル化に
取り組んでいるとお聞きしています。しかし、現在市の内部業務ではなく、
市民との接点のデジタル化が遅れている部分は少なからずあります。特に許
認可が必要な手続きについては、デジタル化に慎重すぎる部署があります。
どうやったら安全性を確保しつつ市民の利便性を向上できるのか、また、市民活動がよりスムーズにできるのか、という視点で、創意工夫を積み重ねて
いただけようにお願いします。昨今「委託管理」に移行する業務が多くな
っています。とりわけ公園利用の申請手続きについてデジタル化の遅れを感
じています。委託管理についてもデジタル化により、スピードアップと効率
化をあげるため努力する義務を強化していただきたい。

【回答】

都市づくり部都市整備担当部長

公園利用の申請書につきましては、年明け、2026年1月から、全ての
公園を対象に、電子メールで提出できるよう準備中です。

許可書につきましては、紙で発行しておりますが、返信用封筒をご用意い
ただくことで、郵送することもできますので、ご相談いただければと思いま
す。

市民部長

「町内会・自治会活動に関する各種手続きをメールで完結できるサービス
を」について、町内会・自治会支援の観点からお答えします。

市では、町内会・自治会活動の負担軽減に資するため、デジタル活用による
利便性向上に努めています。

一例を挙げますと、町内会・自治会の活動に関する補助金の申請において、
町田市ホームページから申請書を入手でき、メールで提出できるようにして
おります。これにより、いつでもどこからでも、市役所に来ることなく、手
続を完結することができ、交付決定書類につきましても郵送しております。

また、補助金申請のご案内の際には、町田市ホームページ上の該当するペ
ージにアクセスしやすいようにQRコードを掲載するなど、分かりやすいご
案内となるよう努めております。

今後も皆様のご意見を丁寧に伺いながら、デジタル活用による利便性向上

を図ることで、町内会・自治会の皆様の負担軽減となるよう取り組んでまいります。

《質疑》

忠生忠靈地区自治会

いつも大変お世話になっております。

それぞれ今、回答いただいたのですが、町内会・自治会活動では、毎年手続が決まっているのです。今言われた活動補助金の申請とか、公園でお祭りをする場合には公園の申請とか、あと自主防災の申請、これが各部門でまちまちなのです。市民部は、ようやく今年からこの活動補助金がメールでできるようになりました。昨年は、自主防災の申請は防災課でメールでやり取りできるようにしましたが、今年は一切それをやめて、手書きになったのです。それは何かというと、メールでやり取りをした場合に、あまりにも市民の方で間違いが多かったためやめましたと、こういう非常に後ろ向きな答えであるのです。

前は、石阪市長がワンストップサービスをおやりだったのですが、今、実際に公園の申請に行くと、ワンストップどころか、申請を届けに行ったり、そしてまた、許可が出ましたから取りに来てくださいと。今、返信用の封筒に切手を貼れば返しますよと、非常に対応していただいたのですが、実際、この時代、申請はメールでやってもらえるのですが、許可書も私はメールでやってもらえるような時代になっているのではないかと思うのです。もちろん、府内の中の文書管理規定など、いろいろなものを見直しする必要はあるのでしょうかけれども、最近、ネットで物を買っても、領収書はネットから印刷して出せるのです。それは世の中で通じていくわけです。ですから、今、PDFなどもありますから、そういった交渉があったとしてもPDFで送ってもらえば済む話なので、市民にもっと優しいデジタルトランスフォーメーションでやっていただければと思いますので、お願いしたいと思います。

それと、驚いたのは、各部署からいろいろメールを送ってきます。機密があるので、そこにはメールアドレスで、送られてきたパスワードを入れます。これが部署によって違うのです。ある部署だと、自分のメールアドレスを入れて、パスワードを送ってきたものを入れる、これが大体普通だと思いますが、ある部署では、自分のメールではなくて、その部署のメールを入れるのです。このように、府内で統一できないような状況なので、これはちょっと見直しをしていただいて、もっと分かりやすいものにしていただければと思います。

基本的には、そういったものを前向きにやっていただけるという回答だと理解していますので、その辺のところを重ねてお願いしたいと思います。

市民部長

お話を伺いました、配慮が至らず色々とご不便をおかけしているということがよく分かりました。もしお気づきの点がありましたら、市民協働推進課といつもお付き合いをしていただいているかと思いますので、「こういうことがあるのだけれども」ということでお話しitだければと思います。ほかの部署と町内会・自治会の皆さまが直接やり取りしているものについて、なかなか分からぬ点もあります。教えていただければ改善することもできるかと思いますのでよろしくお願ひいたします。

(司会) 地区連合会長

意外にいろいろな細かいことが重なりますと、町内会・自治会もかなり年をとっていますので、なるべくオンラインでスムーズにいくようにお願いしたいと思います。よろしくお願ひします。

第2部 市政全般に関する意見交換

市長からの市政報告

今日は紙でお渡ししてありますので、お帰りになって、それで見ていただくということですが、御礼だけ。

先ほどもちょっとありましたが、都立の児童相談所、ご支援、ご協力いただきまして、山崎保育園の隣にできました。本当にありがとうございます。

それから、給食センターのほうもスタートできました。聞いたら、お昼ご飯は予約がいっぱいだといって、なかなか簡単には食べられないのだそうで、でも、それが専門ではないのでご容赦をいただきたいと。それぐらい、よいお昼ご飯が用意されているということだと思います。

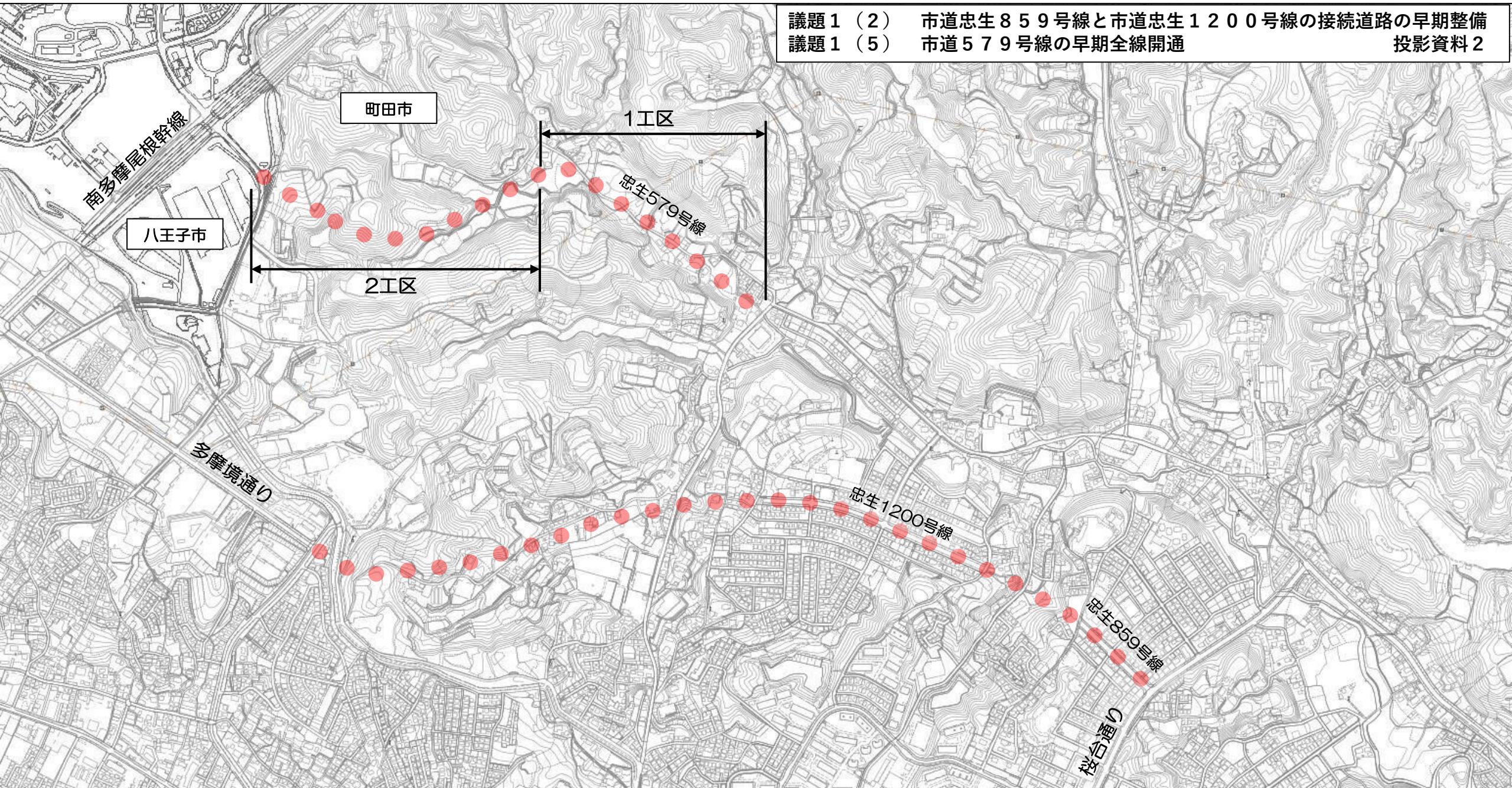
それから、町田木曽山崎パラアリーナ、何とか2028年度に完成させるという予定で今進めております。

それから、先ほどちょっとありましたが、資源ごみ処理施設、鋭意進めております。上小山田のほうはまだまだで、今、当面やれそうなのが相原ということで進めておりますので、よろしくお願ひをいたします。

○閉会の挨拶（忠生地区町内会・自治会連合会副会長）



議題1 (2) 市道忠生859号線と市道忠生1200号線の接続道路の早期整備
議題1 (5) 市道579号線の早期全線開通
投影資料2



議題1（6）下小山田大龍地区に東谷戸道路を新設を

投影資料4

